

# SDGsコンテスト 高校 会議所

富士宮高校会議所は「第5回SDGsコンテスト」を実施するため、持続可能な地域社会をつくるためのアイデアや実践報告などを募集している。SDGs全般の「一般部門」に加え、同会議所のオリジナル堆肥を活用する「マスマス元肥(げんぴ)部門」があり、誰でも参加できる。



応募を呼び掛けるチラシ

SDGsに掲げられている開発目標を地域の活性化に生かすための企画。「世界中で起きているさまざまな問題に目を向け、まずは身近な問題の解決について、私たちにできることは何かを考えてみませんか。私たちのアイデアで持続可能な地域社会をつくりましょう」と呼び掛けている。

成に向けて、持続可能な地域社会をつくるために自分にできることの提案、もしくは実践例(17項目のうちから選択。複数選択可)。

マスマス元肥部門は、マスマス元肥を利用した耕作放棄地の再生、野菜・花・果樹の栽培、それらの作物を使った食品加工などの実践報告。マスマス元肥はSDGs実践として、廃棄される市の魚ニジマスの残渣(さんさ)と朝霧高原の牛ふんを有効活用して開発した堆肥。西町レトロ館(西町)やJAふじ伊豆ふじのみや資材館(外神)で販売している。

一枚にレポートをまとめて応募する。郵送持参、メール、公式ラインで受け付けている。詳しくは公式ウェブサイトにまで。審査で各賞を決め、12月19日(木)に表彰式を西町レトロ館で開催する。

そのほか、「第2回ジャンボカボチャコンテスト」に向けて、参加希望者にジャンボカボチャの苗(アトランティックジャイエント)とマスマス元肥を配布している。「数に限りがあるため、希望者は早めに連絡してほしい」と呼び掛けている。連絡先は時田定則事務局長(☎090・50008・5439)。

両部門ともA4用紙